

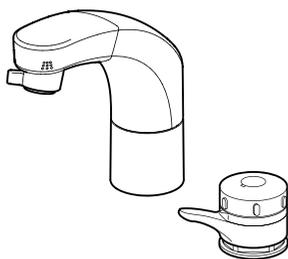
# サーモスタット付 洗髪シャワー混合水栓

SF-805T型

SF-815T型

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的な交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 各部の名称	1
■ 安全上のご注意	2
■ ご使用前に	6
■ ご使用方法	7
■ 凍結の恐れがある場合	9
■ 日常のお手入れ	10
■ 定期的なお手入れ	11
■ 定期的な部品交換のお願い	15
■ 修理を依頼される前に	17
■ アフターサービスについて	21

保証書 .....裏表紙

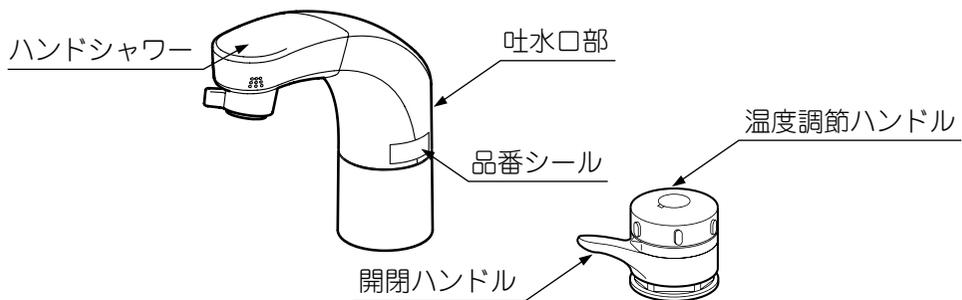
はじめに

つかいかた

お手入れ

こんなときは

# 各部の名称



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明

**警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

**注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



(禁止)

…… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)



(分解禁止)

…… 「分解してはいけません!」



(接触禁止)

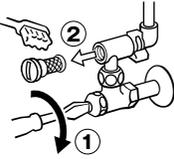
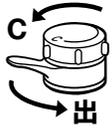
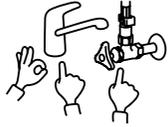
…… 「指示した場所には触れてはいけません!」



(指示)

…… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 警告:ヤケドをしないために

 (禁止)	小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。	
 (指示)	ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを緩めずに流量調節栓を閉めてから行ってください。(P.13参照) ※閉じずに作業を行うと湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (接触禁止)	高温の湯をお使いのときには、ホースは高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水や家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	温度調節ハンドルの温度表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	お使いになる前に必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	高温の湯をお使いの後は必ず温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻し、しばらく水を流してから止めてください。 ※次に使用するとき水栓内に残っている高温の湯を浴び、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇する事がありますので、ゆっくり回してください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
 (禁止)	他所の水栓と同時使用しないでください。 ※同時使用すると、圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	

たもじは

## ⚠ 警告:ヤケドをしないために

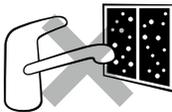
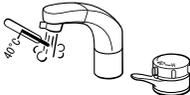
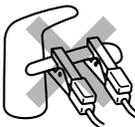
 (禁止)	給湯機器の設定温度は85℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (禁止)	<b>【寒冷地仕様の場合】</b> 水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

## ⚠ 注意:正しくお使いいただくために

 (分解禁止)	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
 (禁止)	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
 (禁止)	オーバーフロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないでください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (指示)	ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起すことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	ゆっくり 
 (指示)	日頃から、ときどき温度調節ハンドルを回してください。 ※温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。	
 (指示)	ハンドスプレー引出し口に直接水をかけないでください。 ※水がキャビネット内に侵入し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

てはここ

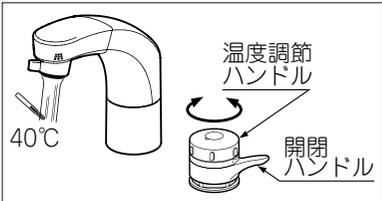
## ⚠ 注意:凍結防止のために

 <p>(指示)</p>	<p><b>【一般地仕様の場合】</b> 凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。(P.9参照) ※変形したり故障して、漏水の原因となります。</p> <p><b>【寒冷地仕様の場合】</b> 配管と水栓の水抜き操作を確実に行ってください。(P.9参照) ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <p>(指示)</p>	<p><b>凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛り“40”と吐出温度があっているか確認してください。</b> ※凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <p>(指示)</p>	<p><b>【寒冷地仕様の場合】</b> 凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <p>(禁止)</p>	<p><b>【寒冷地仕様の場合】</b> 凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	

# ご使用前に

## 吐出温度の確認

温度調節ハンドルは、工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐出温度が表示通りになっているか以下の要領で確認します。

1. 給湯器の給湯温度を設定します。  
※給湯温度は使用する最高温度より約 10℃高く設定してください。  
※給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がずれて、表示通りの温度が出なくなります。
2. 温度調節ハンドルの表示ボタンを温度表示の「40」に合わせ、吐水口から全開で吐出します。
3. 吐出温度を確認します。  
吐出温度が適温（およそ 40℃）であればそのままご使用いただけます。吐出温度が適温からずれている場合は、「希望の温度が得られないとき」の項（P.18）を参照し温度調節ハンドルを設定しなおします。

## ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。  
※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げてください。

## ストレーナーを掃除してください

施工後はじめてお使いになる前に、正常に吐出することをご確認いただき、ストレーナーの掃除をしてください。（P.11～13参照）

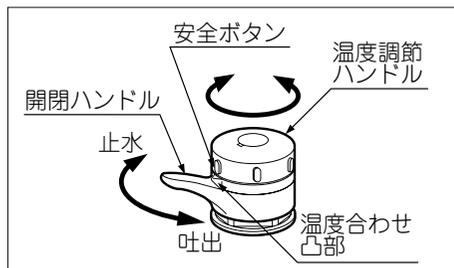
### 注意

ストレーナーを掃除しないと、配管の中のゴミが流れ出て、ストレーナーが詰まり、正常に吐出しません場合があります。

# ご使用方法

## 温度の調節

温度調節ハンドルの数字（温度目盛）は吐出温度を示しています。これを目安として温度目盛を温度合わせ凸部に合わせてください。



### ポイント

安全ボタンの動きで高温側に回していくと「40」の表示のところで一度温度調節ハンドルが止まります。40℃以上の吐出温度が必要な場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

### ポイント

この水栓は、約50℃以上の温水は吐出しない構造となっています。

### ポイント

より快適にご使用していただくために季節によって、給水温度は「夏は温かく、冬は冷たく」というように一定ではありません。このため、給水温度の変化につれて、吐出温度も表示温度からずれることがあります。

この場合、給湯器の設定温度を  
**夏は低く、冬は高く**

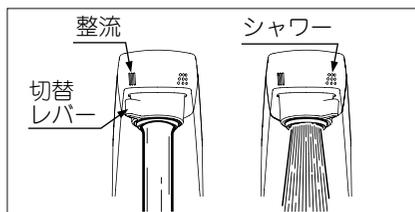
調節していただくことで、吐出温度と表示温度のずれが少なくなり、いつも快適にご使用になれます。

## 吐出量の調節

開閉ハンドルを反時計回りに回すと吐出し、時計回りに回すと止水します。

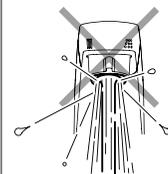
## 整流・シャワーの切替え

整流使用のときは、ハンドシャワーの切替レバーを左側に、シャワー使用のときは右側に切り替えてください。



### 注意

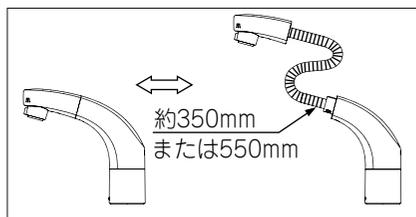
切替レバーは確実に整流位置、もしくはシャワー位置に切り替えてください。  
※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服がぬれる可能性があります。



しっかりと止まる位置まで切り替えてください。

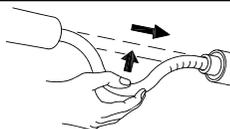
## 引出長さの調節

ハンドシャワーは最長約 350mm (または約 550mm) まで引き出せます。お好みの長さでご使用ください。



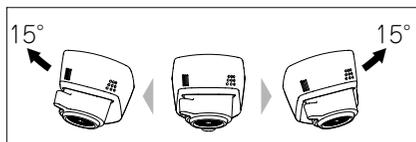
### ポイント

- ハンドシャワーの出し入れがしにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納する。
- 寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水する。



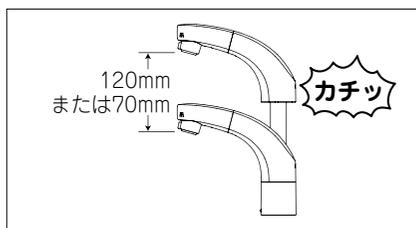
## 吐出角度の調節

ハンドシャワーは、納めた状態で左右15°ずつ計30°回転します。お好みの角度でご使用ください。



## 吐水口高さの変更

用途により吐水口の高さを変更してください。



### ポイント

- 上げるときは、吐水口部を握り、カチッと音がするまで引き上げる。
- 下げるときは、吐水口部を握り、吐水口下端までゆっくりと完全に降ろす。

### 注意

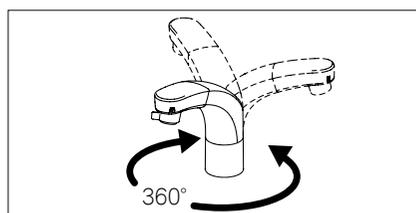
吐水口は、一番上もしくは一番下の高さで、ご使用ください。途中の位置でご使用されると、カウンター下へ水が浸入したり、一番上の高さで固定できなくなることがあります。

## 吐水口部の回転

吐水口は360°回転します。お好みの位置でご使用ください。

### 注意

- 回転させて化粧台等に当たらないように注意してください。
- 回転させて陶器・洗面ボウルの外に吐水しないように注意してください。



# 凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

## 凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

## 一般地用をご使用の場合

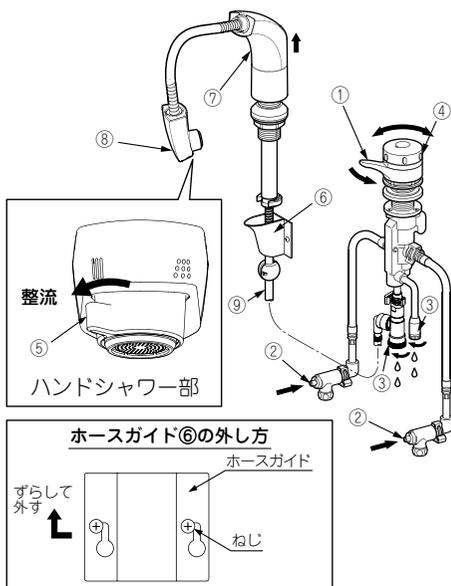
凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

## 寒冷地用をご使用の場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

- 1.配管の水抜き栓を操作する。
- 2.開閉ハンドル①を開ける。
- 3.接続ソケットの逆止弁開放ボタン②(2ヶ)を押す。
- 4.水抜き栓③(2ヶ)を開ける。  
※水抜き栓から水が出ますので、容器で受けてください。
- 5.温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」付近まで回し、「40」の位置にする。
- 6.ハンドシャワーの切替レバー⑤を「整流」に切り替える。
- 7.ホースガイド⑥がある場合は、ホースガイド⑥を外す。
- 8.ガイド管⑦を引き上げ、ハンドシャワー⑧を引き出し、振って水をよく切る。
- 9.ホース⑨を水抜き栓③より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。
- 10.水栓の水が抜けたら開閉ハンドル①を閉める。  
※水抜き完了後は忘れずに水抜き栓③(2ヶ)を閉めてください。  
※ホースガイド⑥を外した場合は、元の位置に取り付けてください。



# 日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。

## 注意

水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・ クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・ 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・ ナイロンたわし、ブラシ等
- ・ シンナー、ベンジン等の溶剤



- 酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合などはすぐに本品を十分水洗いしてください。

# 定期的なお手入れ

## ストレーナーの掃除

切替ユニットのストレーナーや逆止弁ソケットのストレーナー付逆止弁にゴミが詰まると、吐出状態が乱れたり、吐出量が少なくなります。ときどき、次の要領で掃除してください。

### 注意

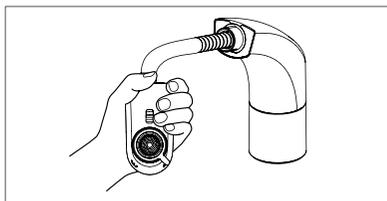


ストレーナーを掃除する際は、排水栓を閉じて行ってください。

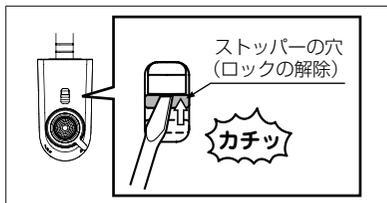
※ストッパーを紛失する恐れがあります。

### 【切替ユニットの場合】

1. ハンドシャワーを引き出し、裏向きにしてください。



2. ストッパーの穴に、指もしくはドライバーを入れ、スライドさせる。  
※ドライバーを使用する際は、ハンドシャワーにキズが付かないよう注意してください。



3. 切替ユニットを引っ張り、取り外してください。

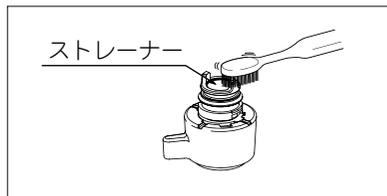
### 注意

切替ユニットが固くて外しにくい場合がありますが、切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。

※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。



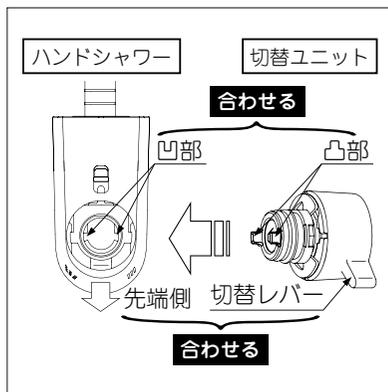
4. 取り外した切替ユニットのストレーナーを、歯ブラシ等で掃除してください。



5. 切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

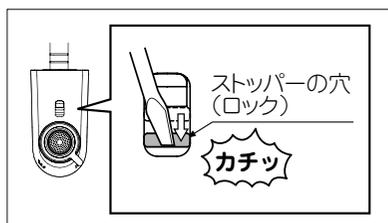
※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。

※切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。



6. 2. の逆の要領で、ストッパーの穴をスライドさせてロックします。

※固くてスライドできなければ、5. に戻り、切替ユニットをしっかりと差し込んでからやり直してください。



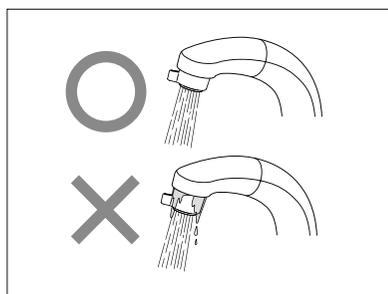
7. 切替ユニットを引っ張って、外れないことを確認してください。



8. 切替ユニットを取付後、正常に吐出することを確認してください。

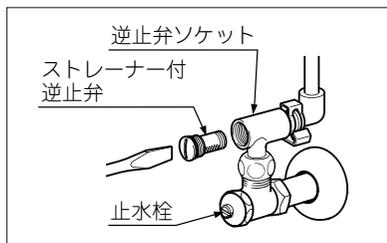
※異常のままご使用になられますと、使用中に切替ユニットが外れて、ケガをする恐れがあります。

※異常がある場合は、6. に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。



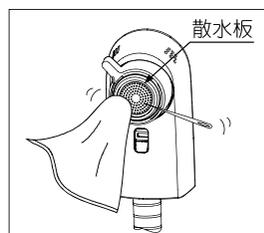
## 【逆止弁ソケットの場合】

1. 湯側と水側の止水栓を閉じます。  
※このとき、何度回したかを覚えておきます。
2. 開閉ハンドルを全開にし、水栓内部の圧力を抜きます。  
※シャワーから水が出ないことを確認してください。
3. 止水栓上部にあるストレーナー付逆止弁を大形のマイナスドライバー等で左に回して取り外し、ストレーナーについたゴミ等を水で洗い流します。  
※パイプ内に残っている水が出ますので洗面器で受けてください。  
※ストレーナーは湯側と水側の両方に付いています。
4. ゴミを歯ブラシ等で取り除いてください。
5. 組付けは逆の手順で行い、止水栓を元の位置に戻します。



## 散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。



### 注意

強い力で刺さないでください。  
※散水板が変形する恐れがあります。

## 水まわりの水漏れ（年2回以上）

- 水まわりの水漏れがないか点検してください。
- 見えない部分は特に注意が必要です。  
（洗面台・キッチンキャビネット内）  
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



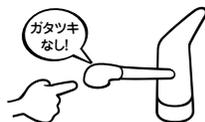
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め（P.17参照）、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



## 水栓本体のガタツキ（年2回以上）

- 水栓本体のガタツキがないかを確認してください。  
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

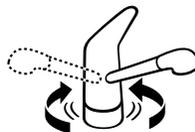
水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



## 吐水口部の操作性（月1回以上）

- ときどき吐水口部を回してください。  
※吐水口部を長時間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



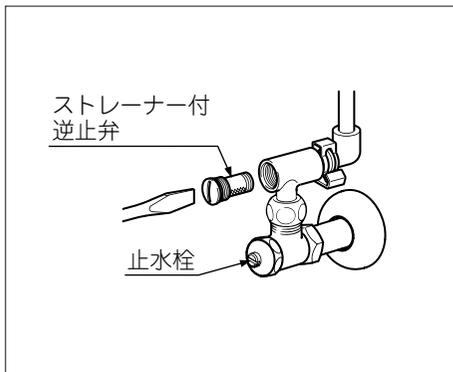
# 定期的な部品交換のお願い

保証期間外の各部品交換は有料になります。

## 逆止弁の交換

安全を確保するため定期的に逆止弁を交換してください。

※逆止弁が正しく機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する恐れがあります。



### 交換時期：3～5年

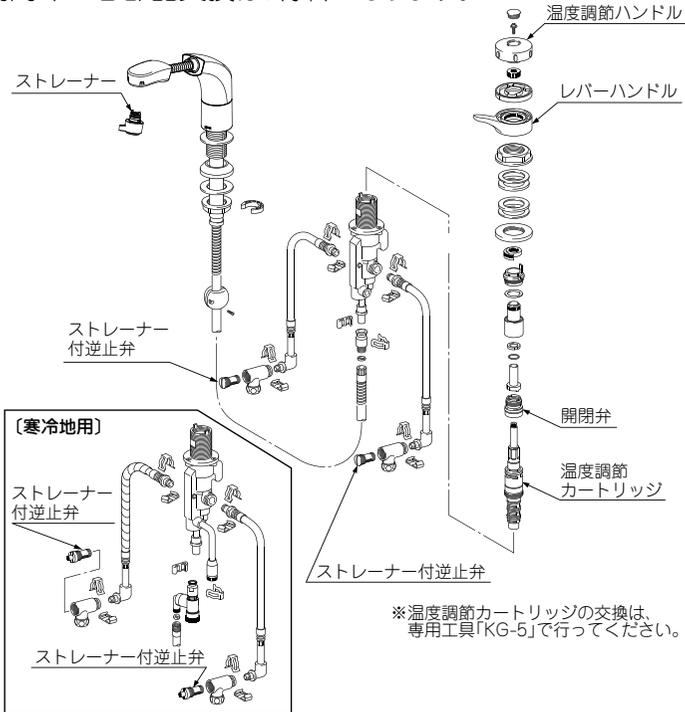
※逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

 **0120-179-411**

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

## 摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
  - 摩耗劣化する部品の例(水栓の種類によって異なります)  
例)逆止弁、ハンドル、シャワーホース、バルブ部(シングルレバーカートリッジなど)、パッキンなど
  - 部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。
- ※保証期間外の各部品交換は、有料になります。



※温度調節カートリッジの交換は、専用工具「KG-5」で行ってください。

## 定期的な点検・部品交換のめやす

使用年

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換(逆止弁は3年~5年)

買換え  
ご検討

# 修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

## 流量が少ない

※施工直後に配管のゴミが流れてきて、水栓につまることがあります。ご使用前に、以下の確認をしてください。

### …➔ 止水栓は十分に開いていますか？

下記を参照にして、湯側と水側の止水栓が適切に絞られていることを確認してください。

### …➔ ストレーナーにゴミが詰まっていますか？

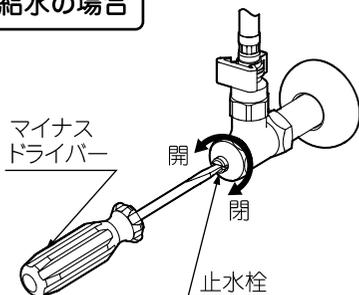
P.11～13を参照にストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。

### …➔ 給湯器の設定温度は正しいですか？

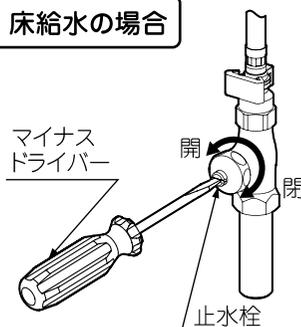
十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下の設定をおすすめします。ただし、ヤケド防止のため、60℃を超えない設定としてください。

## 止水栓の調節

壁給水の場合



床給水の場合



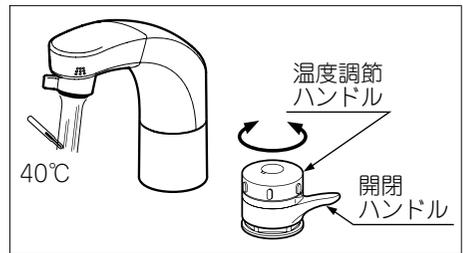
※上記例は、ドライバー式止水栓です。  
ハンドル式止水栓は、ハンドルを回して調節してください。

ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

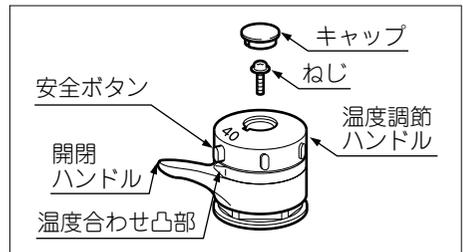
## 希望する吐水温度が得られない

- …➤ **流量調節栓は十分に開いていますか？**  
P.17を参照にして、湯側と水側の止水栓が十分開いていることを確認してください。
- …➤ **ストレーナーにゴミが詰まっていますか？**  
P.11～13を参照にストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
- …➤ **給湯器は正常に動作していますか？**  
給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。
- …➤ **温度調節ハンドルが適切な位置に設定されていますか？**  
下記を参照にして温度調節ハンドルの位置を調節してください。

1. 全開吐出し吐水口から出る湯の温度を、温度目盛に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。



2. 吐出温度が40℃になったところで開閉ハンドルを閉めます。

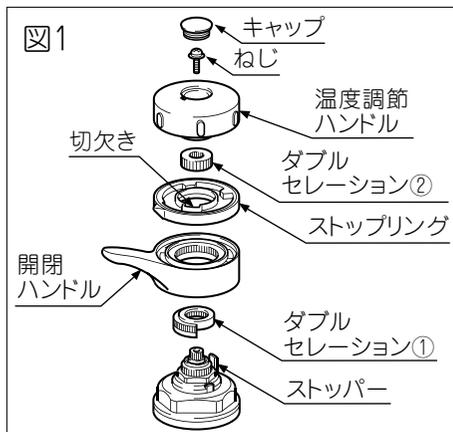


3. キャップとねじを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。  
※温度調節ハンドルが回転しないように注意しながら行ってください。
4. 抜き取った温度調節ハンドルの安全ボタンが温度合わせ凸部に合うように温度調節ハンドルをはめてねじを締め、キャップをはめ込みます。

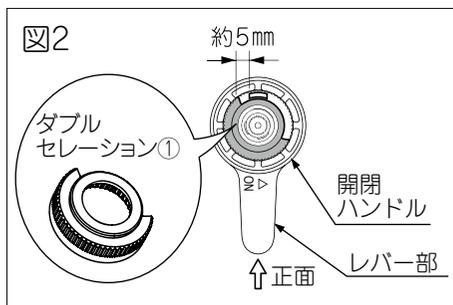
## 止水しずらくなっとき

止水しずらくなっ場合は、次の要領でハンドルをはめ直してください。

1. 図1のようにハンドルを外します。温度調節ハンドルは「40」の位置で抜き取ります。※この位置がずれると、温度調節が表示と合わなくなりますので注意してください。

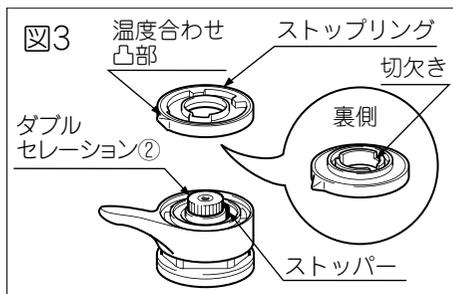


2. ダブルセレーション①をはめ直して水を流し、確実に止水する位置を確かめます。

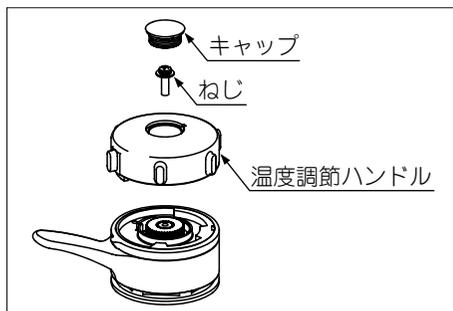


3. その状態のまま、図2のようにダブルセレーション①をはめ直し、開閉ハンドルを取り付けます。

4. ダブルセレーション②をはめ、ストップリングを取り付けます。ストップリングの温度合わせ凸部を図3の向きにして、切欠きをストッパーに、はめ込みます。

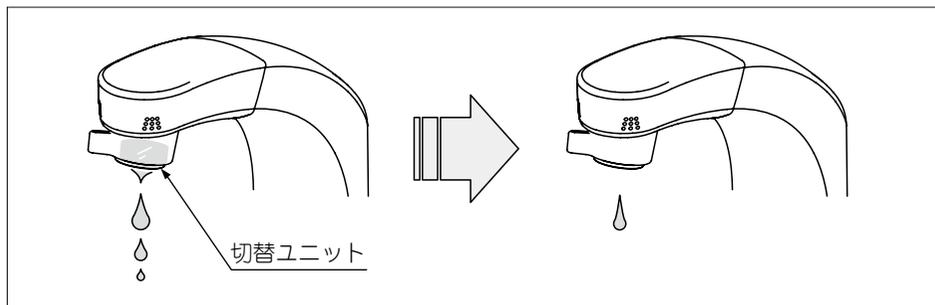


5. 温度調節ハンドルを取り付けます。「希望の温度が得られないとき」の項 (P.18) を参照ください。) 吐出温度がずれている場合は、温度調節ハンドルを調節しなおしてください。「希望の温度が得られないとき」の項 (P.18) を参照ください。



## 水を止めた後に、少しの間水が垂れる

切替ユニットの内部にたまった少量の水が排出されるため、故障ではありません。



以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、取扱店または LIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

※ LIXIL 修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料” + “出張料” + “部品代”で構成されています。

 **0120-179-411**

# アフターサービスについて

## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.17)を参照して確認してください。

### ⚠ 注意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



## 2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼される時

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

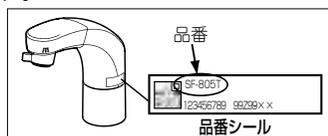
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(商品に表示、右図参照)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

## 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切り後最低10年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

## 5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで(ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>)  
TEL ☎ 0120-179-411 受付時間 9:00~20:00 (365日受付)  
FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400 受付時間 平日 9:00~18:00  
FAX ☎ 0120-179-430 土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

- 当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

MEMO

## 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：サーモスタット付洗髪シャワー混合水栓（品番：_____）		取付日	_____年 月 日	
保証期間	取付日より2ヶ年	<b>無効</b>		
お客さま	おなまえ			取扱店名
	おところ			
	おでんわ ( ) -			TEL ( ) -
<p>お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。</p> <p>・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。</p>				

## 無料修理規定（保証規定）

- [取扱説明書]・[ラベル]などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご購入品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
  - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
  - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
  - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
  - 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
  - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破壊や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
  - 消耗品（バッテリー、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障及び損傷不具合
  - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>